

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 大同工業株式会社
 コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 康三
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部担当部長 (氏名) 野口 賢信
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 0761-72-1234

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	36,383	—	2,050	—	2,065	—	1,092	—
20年3月期第3四半期	36,571	2.8	1,726	6.7	1,653	△2.5	810	△6.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	23.21	—
20年3月期第3四半期	17.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	52,843	—	18,233	—	26.1	—	292.86	—
20年3月期	54,110	—	20,224	—	28.8	—	330.70	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 13,787百万円 20年3月期 15,570百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△5.1	1,200	△43.5	700	△63.0	250	△67.9	5.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 有
- (注) 詳細は、2ページ「定性的情報・財務諸表等」の4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第3四半期 | 47,171,006株 | 20年3月期 | 47,171,006株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第3四半期 | 93,065株 | 20年3月期 | 87,563株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第3四半期 | 47,081,667株 | 20年3月期第3四半期 | 47,084,664株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国金融不安に端を発した世界的な景気後退の影響を受け、株価下落と円高が進行する中で、企業収益の悪化、輸出や設備投資の減少、また個人消費などが一段と後退するなど実体経済に波及し、景気の後退が鮮明となり非常に厳しい局面を迎えました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、売上高は、二輪車用チェーンが南米、アジアを中心に順調に推移し、四輪車用チェーンにおいても、完成車メーカーへ量産納入が開始され順調に推移しましたが、米国の景気後退を背景にして、二輪車用リム、スイングアーム、バギー車用ホイールが、北米向けを中心に大幅に減少し、前年同期を下回りました。一方、収益面におきましては、既存の海外拠点におけるチェーン設備の増強等、グローバル展開を積極的に進めるとともに、原材料コスト上昇分の製品価格への転嫁、原価低減活動に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は36,383百万円(前年同期比0.5%減)、連結営業利益は2,050百万円(前年同期比18.7%増)、連結経常利益は2,065百万円(前年同期比24.9%増)、四半期純利益は1,092百万円(前年同期比34.8%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は52,843百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,266百万円減少しました。その主な内訳は、現金及び預金、投資有価証券の減少によるものであります。負債におきましては、前連結会計年度末と比べ723百万円増加し、34,610百万円となりました。主に支払手形及び買掛金の増加によるものであります。純資産におきましては、その他有価証券評価差額金が減少した結果、18,233百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、米国金融不安に端を発した景気後退が、新興国を含め世界的な実体経済に波及し、当社グループを取り巻く環境が急激に悪化しております。

こうした状況の中、当社主要顧客の二輪車メーカー、自動車メーカーの予想を超える生産調整による減産が本格化し、また、産業機械用においても設備投資の抑制がより一層強まってきており、第4四半期以降においても更に厳しい状況が続くことが予想されることから、通期業績予想につきまして、売上高および営業利益・経常利益・当期純利益を修正いたします。

なお、通期の業績見通しの前提となる今後の為替レートにつきましては、1米ドル90円、1ユーロ120円を想定しております。

< 連結 >

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
(ご参考 前期実績)				
平成20年3月期	48,467	2,123	1,891	778
(前回業績予想)				
平成21年3月期	46,900	1,900	1,800	1,000
(今回業績予想)				
平成21年3月期	46,000	1,200	700	250
前期比 (%)	△5.1	△43.5	△63.0	△67.9

< 個別 >

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
(ご参考 前期実績)				
平成20年3月期	29,406	576	760	304
(前回業績予想)				
平成21年3月期	28,500	650	800	500
(今回業績予想)				
平成21年3月期	26,800	100	300	100
前期比 (%)	△8.9	△82.7	△60.5	△67.1

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②固定資産の減価償却の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積もりを考慮した予算を策定し、当該予算に基づく償却予定額を期間按分して算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更による損益への影響はありません。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によりておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度にかかる四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によりております。なお、これによる損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,427	3,487
受取手形及び売掛金	12,121	11,273
製品	2,878	2,556
原材料	1,759	1,179
仕掛品	2,521	1,925
貯蔵品	995	902
繰延税金資産	334	521
その他	614	356
貸倒引当金	△34	△35
流動資産合計	23,618	22,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,839	5,792
機械装置及び運搬具(純額)	7,367	8,543
土地	2,837	2,963
建設仮勘定	916	525
その他(純額)	1,482	536
有形固定資産合計	18,442	18,360
無形固定資産		
のれん	85	342
ソフトウェア	153	109
その他	23	37
無形固定資産合計	262	488
投資その他の資産		
投資有価証券	8,780	11,888
繰延税金資産	597	88
その他	1,143	1,118
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,520	13,094
固定資産合計	29,224	31,944
資産合計	52,843	54,110

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,166	6,268
短期借入金	8,441	7,998
未払法人税等	195	259
賞与引当金	296	540
役員賞与引当金	—	19
製品保証引当金	202	212
その他	2,926	2,996
流動負債合計	19,229	18,295
固定負債		
社債	4,500	4,500
長期借入金	5,056	4,707
繰延税金負債	93	784
退職給付引当金	4,877	5,019
その他	853	579
固定負債合計	15,380	15,591
負債合計	34,610	33,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,060
利益剰余金	7,366	6,738
自己株式	△17	△16
株主資本合計	12,136	11,508
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,017	3,860
繰延ヘッジ損益	△81	△85
為替換算調整勘定	△284	285
評価・換算差額等合計	1,650	4,061
少数株主持分	4,446	4,653
純資産合計	18,233	20,224
負債純資産合計	52,843	54,110

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	36,383
売上原価	29,583
売上総利益	6,799
販売費及び一般管理費	4,749
営業利益	2,050
営業外収益	
受取利息	67
受取配当金	215
持分法による投資利益	94
その他	172
営業外収益合計	550
営業外費用	
支払利息	351
その他	183
営業外費用合計	535
経常利益	2,065
特別利益	
固定資産売却益	190
その他	2
特別利益合計	192
特別損失	
固定資産除却損	46
投資有価証券評価損	77
その他	1
特別損失合計	126
税金等調整前四半期純利益	2,131
法人税、住民税及び事業税	424
法人税等調整額	240
法人税等合計	664
少数株主利益	374
四半期純利益	1,092

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

（1）（要約）四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	36,571
II 売上原価	30,272
売上総利益	6,298
III 販売費及び一般管理費	4,571
営業利益	1,726
IV 営業外収益	524
受取利息	48
受取配当金	203
その他の営業外収益	272
V 営業外費用	597
支払利息	328
その他の営業外費用	268
経常利益	1,653
VI 特別利益	164
固定資産売却益	86
収用補償金収入	62
その他の特別利益	15
VII 特別損失	265
固定資産売却損除却損	39
製品補償費用	215
その他の特別損失	10
税金等調整前四半期純利益	1,553
税金費用	517
少数株主利益	224
四半期純利益	810